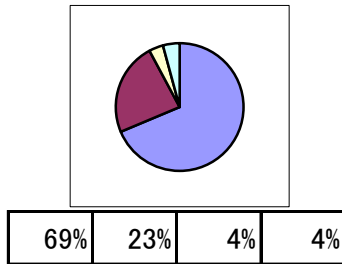


平成27年度 児童アンケート結果

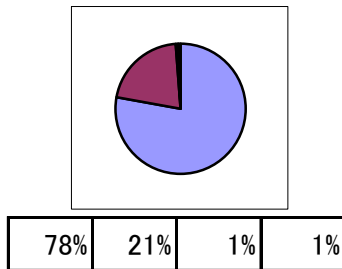
データは左から「そうだと思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の順

1 学校へ来るのが楽しい。



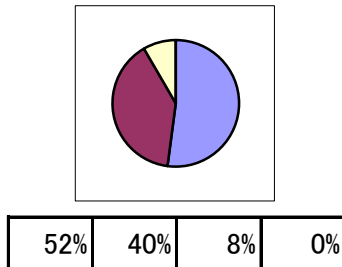
考察	学校へ来るのが楽しいと回答した児童が92%いる。しかし8%の児童は否定的な回答であるので、引き続き全員が肯定的な回答になるよう努力する。
----	--

2 先生は工夫しているいろいろなものを使って勉強をわかりやすく教えてくれる



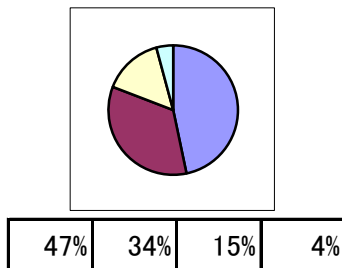
考察	98%肯定的に答えており、児童の興味や実態に応じ、工夫しながら教師が授業をしていることが覗える。
----	--

3 授業の内容がわかる



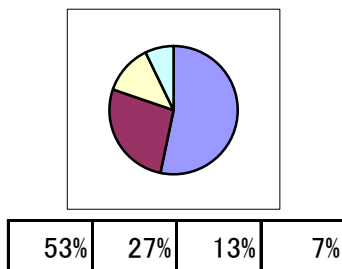
考察	92%が授業の内容がわかると回答しており、学力の向上につながっていると考えられる。
----	---

4 国語の勉強が好きである。



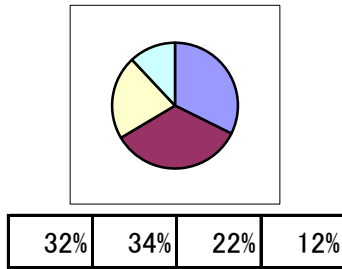
考察	81%の児童が好きであると回答し、学力向上実行プランの数値目標「(国語が好き)と答えた児童が80%以上」をクリアすることができた。
----	---

5 算数の勉強が好きである。



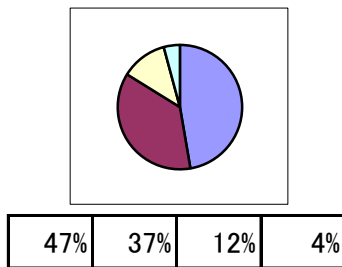
考察	80%の児童が好きであると回答し、学力向上実行プランの数値目標「(算数が好き)と答えた児童が80%以上」をクリアすることができた。
----	---

6 考えを他の人に説明したり文章に書いたりするのが好きだ。



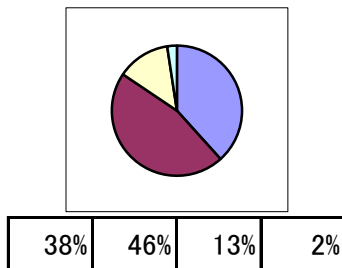
考察 66%の児童が好きと回答し、学力向上実行プランの数値目標「(自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりするのは得意)と答えた児童が80%以上」にはまだ14%足りなかった。今後研修を通じて強化していかなければならない。

7 難しいことでも失敗を恐れずに挑戦している。



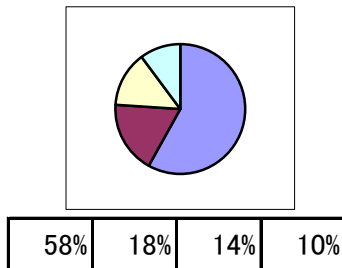
考察 84%の児童が肯定的に回答し、学力向上実行プランの数値目標「(難しいことでも失敗を恐れずに挑戦する)と答えた児童が80%以上」をクリアすることができた。

8 話を聞くととき、体を先生や友達のほうに向けて最後までしっかり聞くことができている



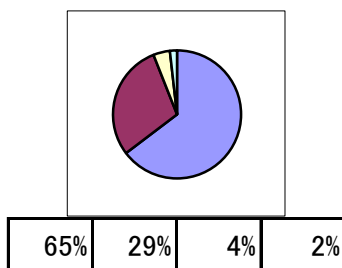
考察 84%ができていると回答している。本年度の研修目標「聴く力の育成」の成果が出ていると考えられる。

9 休み時間は外へ出て遊んでいる



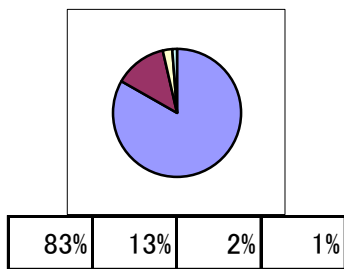
考察 76%の児童がが外へ出て遊んでおり、毎週1回の「全校運動」が外で遊ぶ習慣の育成に役だっているようである。

10 先生は、励ましてくれたり困った時に話を聞いてくれたりする。



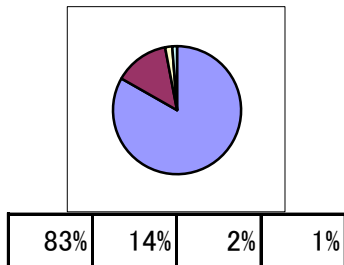
考察 94%が肯定的な回答をしている。教師が細やかな配慮をしながら児童と接していることがわかる。

11 先生は、間違っただけをしたら注意してくれる。



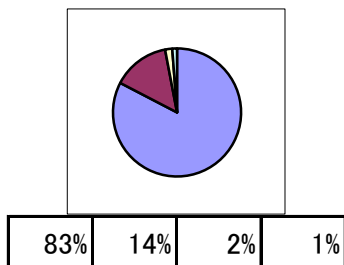
考察	96%が肯定的な回答をしており、規範意識の育成等に教師が真剣に取り組んでいることがわかる。
----	---

12 先生は、子供たちの健康や安全に気をつけている。



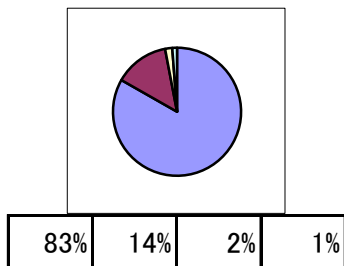
考察	97%が肯定的な回答をしており、児童の健康・安全にも気を配っていることがわかる。
----	--

13 地震や火事などのときどうやって逃げたらよいか理解している。



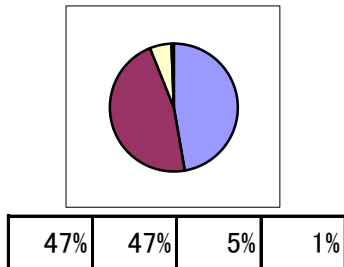
考察	97%が肯定的な回答をしており、避難訓練等の緊急時の集団行動に児童は真剣に取り組んでいることが覗える。
----	---

14 先生は、いじめや差別のない学校や学級にしようとがんばっている



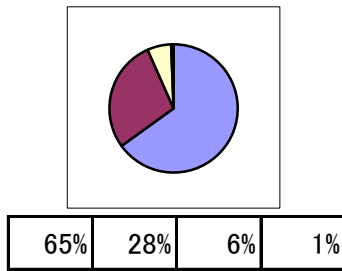
考察	97%が肯定的な回答をしている。生徒指導や道徳教育、人権教育等で教師が児童に人権尊重の精神をしっかり教えていることがわかる。
----	--

15 きまりを守って生活できている。



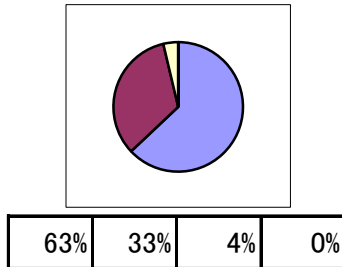
考察	94%が肯定的な回答をしている。しかし教師の回答はそれより20%程度低い。規範意識の育成を今後もしっかり行っていかなければならない。
----	--

16 学級はみんな楽しく生活できている。



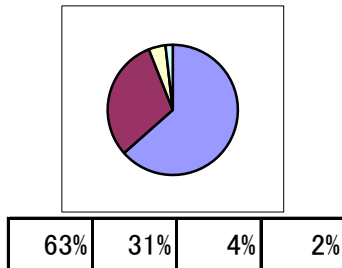
考察	肯定的な回答が93%あるのは評価できるが、そうでない児童も若干いることを念頭において、全員が「学校が楽しい」と思えるような学級・学校を目指していく。
----	--

17 目標を持って学校や家庭、地域での活動をしている



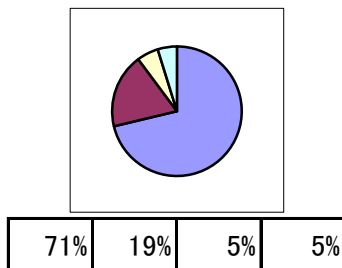
考察	目標を持てている児童がほとんどである。やや消極的な児童もいる。機会を通じて、自己目標の設定や取り組みの評価をさせる場を設定することが必要である。その取り組みを教師が支援することも忘れてはならない。
----	--

18 自分や友達を大切にすることができている



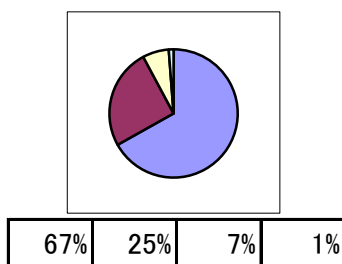
考察	94%の児童が肯定的な回答をしている。道徳教育や人権教育、体験活動等を通じて、さらに友達を大切にすることを培っていく。
----	---

19 困ったことがあったとき相談できる友達がいる



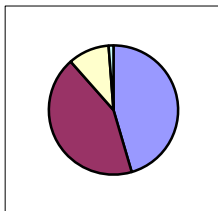
考察	90%の児童が肯定的な回答をしている。今後も孤立している児童がいないよう、協働体制で児童観察にあたり、人間関係づくりに努めたい。
----	--

20 先生や友達へのあいさつができている。



考察	92%の児童が自分はあいさつができていると思っているようだ。これからもあいさつの指導に努めたい。
----	--

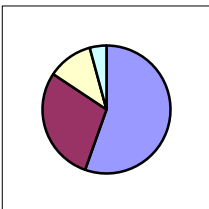
21 忘れ物をせず、勉強の準備ができている。



45%	43%	10%	1%
-----	-----	-----	----

考察	11%の児童ができていないと回答している。学習準備を確実にすることは欠かせない生活習慣である。家庭との連携を図り、確実に準備ができる児童を育てていきたい。
----	---

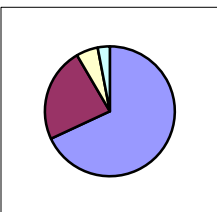
22 家で勉強するときTVなどを見ず、集中して勉強している



55%	29%	11%	4%
-----	-----	-----	----

考察	15%の児童がまだ不十分である。家庭学習の充実のため、さらに家庭との連携を密にしていく。
----	--

23 学校からのおたよりをきちんと家の人に渡している。



68%	23%	5%	3%
-----	-----	----	----

考察	学校から渡すたよりは年間相当な枚数になる。しかし、どれも大事なものばかりなので確実に保護者の目に留まるように渡し忘れの多い児童は繰り返し指導する。
----	---